

2025年度

ニチキッズ十日市保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月9日（金）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月25日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ」「おもいっきり学ぶ」を基本として、子どもの人格の尊重および最善の利益を常に意識しながら保育を行った。その子にとっての一番の興味・関心、また嬉しいことは何かを主として、また一人ひとりの気持ちを受容することを大切に、発達や個性に応じた保育を行うことが出来た。
子どもの発達援助	月齢差による子どもの発達の違いに対して、環境など様々な工夫をこらして、安全に満足して過ごせるようにした。「自分でやってみよう」「自分で出来た」という機会を多く作り、自信や喜びに繋がった。また他児との関わりの中で、あらゆる感情が育ち一つ一つ成長していった。今後も一人ひとりの発達や個性に合った保育を実践していきたい。
保護者に対する支援	各家庭の状況や保護者のニーズを把握し、適切な対応を心がけることで、より信頼関係が深まっていった。また送迎時に子どもの様子を伝えることで、成長を保護者と共に喜び合えた。今後も引き続き丁寧な対応をしていきたい。
保育を支える組織的基盤	WEB や対面による多くの研修を受講でき、保育士のスキルアップを図ることができた。また園内研修として全職員に内容を共有することで意識統一ができた。組織的基盤としては、互いを認め合い寄り添い合いより良いチームワークを作っていた。

総評
保育理念・保育目標を改めて確認したり、虐待や不適切保育の定義を追求したりと、日々自分の保育を見つめ、振り返りを繰り返す中で良い保育が出来た。職員が互いに声を掛け合い、風通しの良い雰囲気の中で、より良い保育となるよう、今後も引き続きコミュニケーションを深めていきたい。 職員と保護者の信頼関係もより深まり、とても明るい楽しい園生活となった。